

MAXHUB V6 Tシリーズ 簡易操作ガイド



2023.7
株式会社MAYA SYSTEM

目次

基本

電源ON・OFF P.3

ホーム画面とメニュー P.4

ホワイトボード機能

起動・書く・消す P.5-6

選択・移動・縮小/拡大 P.7

表・画像・図形・マインドマップ挿入 P.8-10

ページの追加・移動・削除 P.11

手描き文字認識・スマートモード P.12-13

メモ転送・データ転送 P.14-15

データの保存 P.16

QRコードでデータの共有 P.17

ホワイトボード共有 P.18

プレゼンテーション機能

ワイヤレスドングルで画面共有 P.19

WEB会議機能

WEB会議アプリを使う P.20

基本 電源ON・OFF

1. 電源コード接続

MAXHUB本体の電源コードをコンセントにつなぎます。

※アース付きのコンセント
またはOAタップに接続します。



2. 主電源をONにする

モニター向かって、
右下裏の主電源を入れます。

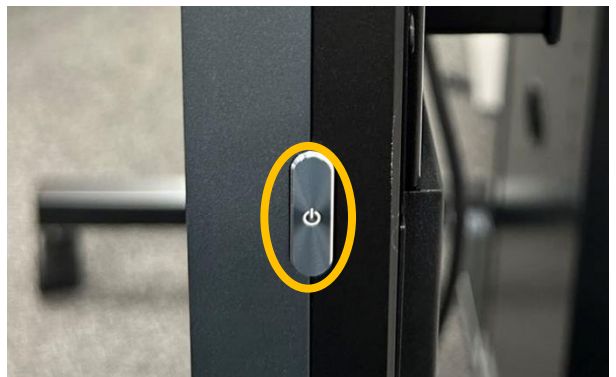
— : ON

○ : OFF



3. サブ電源を押す

主電源が入るとMAXHUB
ロゴ下のランプが赤く点灯します。
その後、フレーム右のサブ電源を
入れます



4. ホーム画面起動

この画面が出てきたら起動完了で
す。



電源OFFは「3（長押し）」で終了、
電源OFF&移動は「3（長押し） → 2 → 1」の順でOFFにしてください

基本 ホーム画面とメニュー

MAXHUBホーム画面とメニュー



「サイドメニュー」項目一覧

項目	内容
画面分割	詳細設定メニューを開く
ファイル転送	外部からのファイル受信
アノテーション	アノテーション機能を起動
タイマー	タイマーアプリを起動
カメラ	カメラ撮影アプリ起動
AVコントローラー	カメラのモード変更アプリを起動
投票	投票機能を起動
スクリーンショット	スクリーンショットアプリを起動
画面録画	画面録画アプリを起動
プロセス	プロセス画面を開く
輝度	本体輝度を調整
音量	本体ボリュームを調整
タッチキーボード	タッチキーボードを起動
設定	詳細設定メニューを開く

ホワイトボード機能 起動・書く

ホワイトボードを起動

ホーム画面でホワイトボードのアイコンをタップします。



文字を書く

ツールバーからペンをタップします。
その後色や太さを選んでペンか指で書き込むことができます。



筆ペンモードで書く

「設定」→「ペンの設定」をタップします。

「筆ペンモード」をONにすると、筆ペンのような書き心地になります。



複数人で書く

「設定」→「ペンの設定」をタップします。

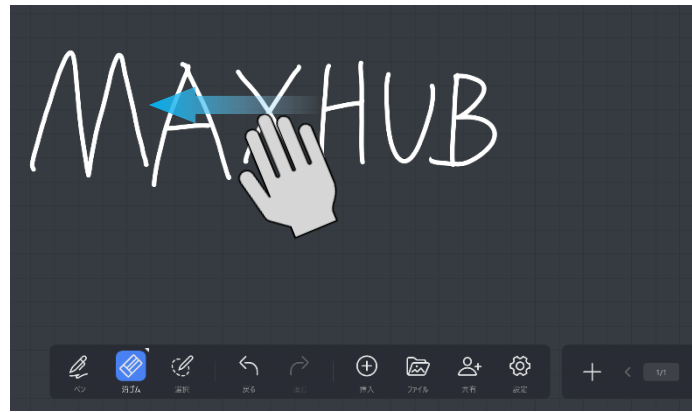
「マルチライティング」ONにより、複数人で書き込む事が可能です。
※マルチライティングモードは二本指での拡大・縮小などとは排他関係にあります。



ホワイトボード機能 消す

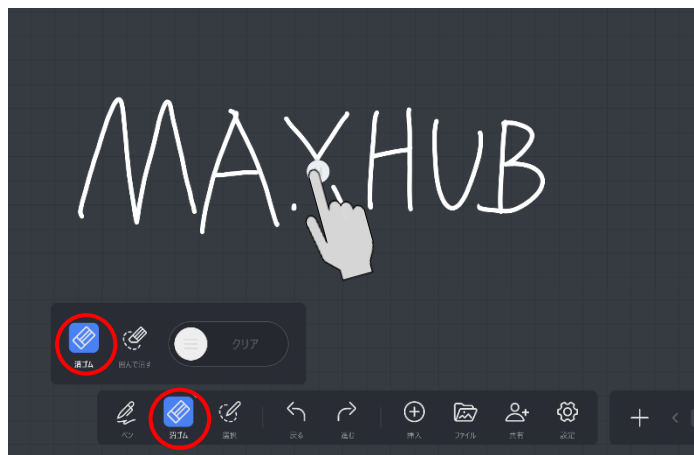
消す①

手のひらや甲など広い面で触れると黒板消しの様に消すことが可能です。



消す②

ツールから「消しゴム」→「消しゴム」をタップします。ペンや指で画面に触れると消しゴムになり、なぞって消すことが可能です。



消す③

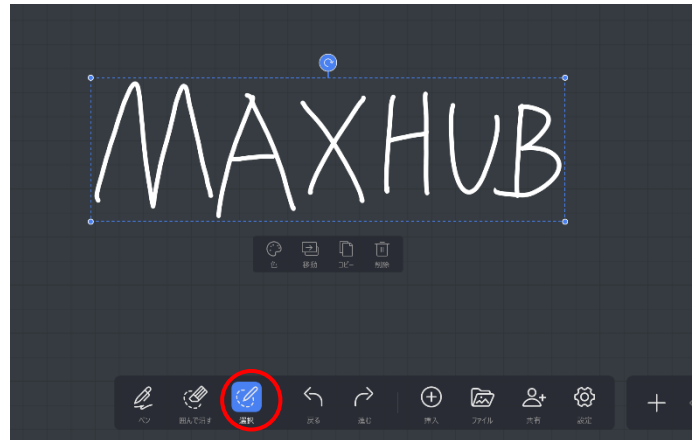
ツールから「消しゴム」→「囲んで消す」を選択します。その後ペンや指で対象を囲んで消すことが可能です。



ホワイトボード機能 選択・移動・縮小/拡大

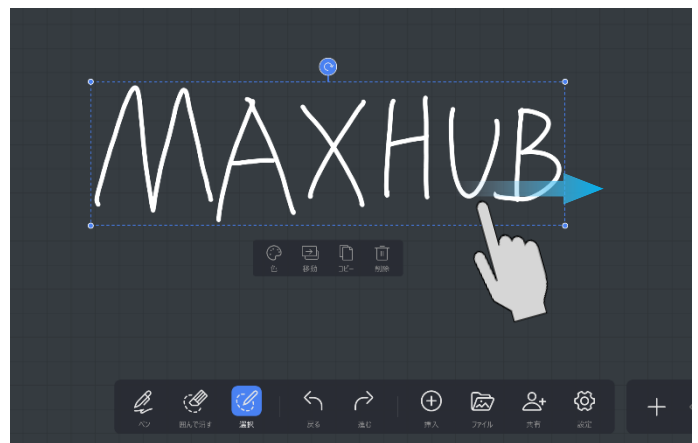
選択

ツールから「選択」をタップ。
画像や図形はタップするだけで選
択できます。
文字は囲むことにより選択できま
す。



移動

選択した状態でペンや指でスライ
ドします。



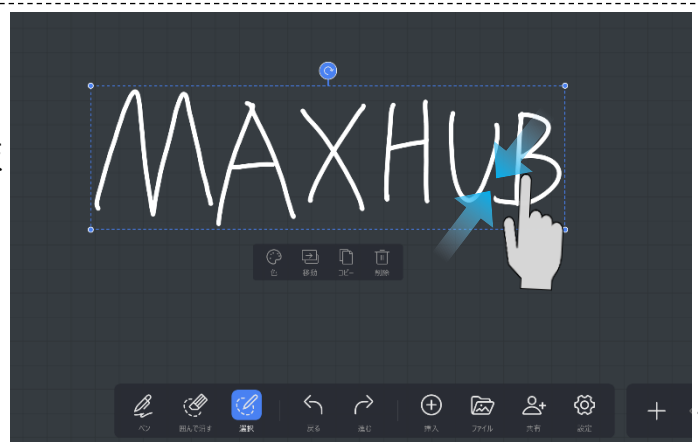
縮小/拡大 ①

選択した状態で四隅の「○」をス
ライドして縮小/拡大します。



縮小/拡大 ②

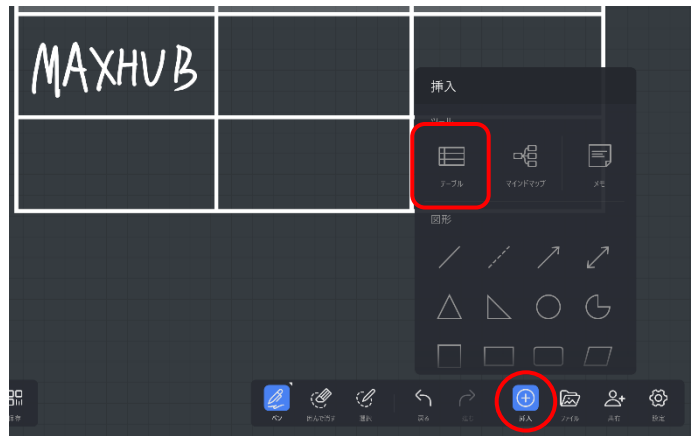
2本の指をピンチイン・ピンチア
ウトすることにより縮小/拡大しま
す。



ホワイトボード機能 表・図形の挿入

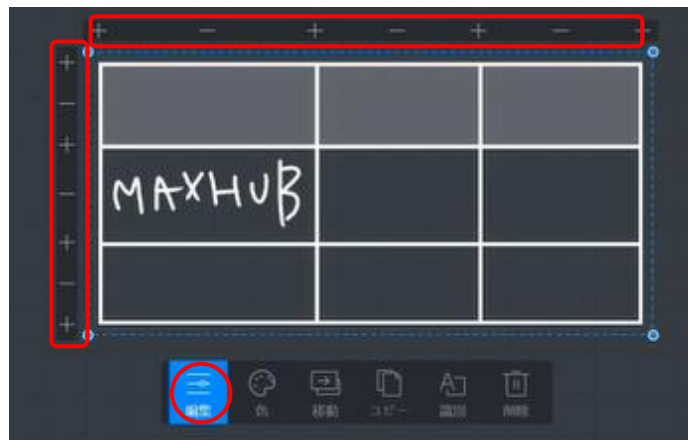
表の挿入・書き込み

「挿入」→「テーブル」をタップすると表が挿入される。表の中に書き込むと、大きさに合わせて枠が自動で調整されます。



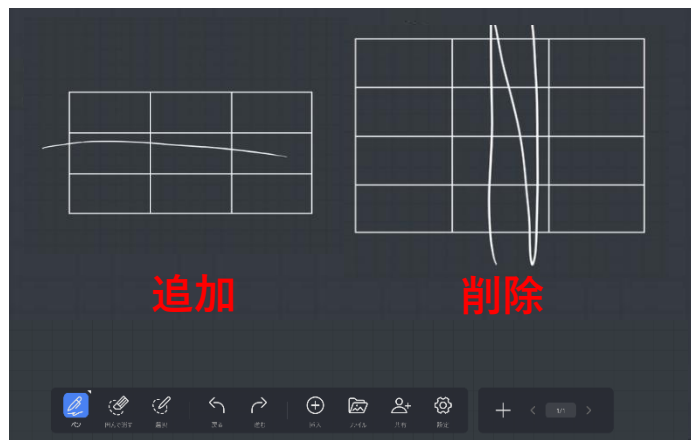
行/列の追加・削除 ①

表を選択するとツールバーが表示される。「編集」をタップし、「+」「-」アイコンを使って行/列の追加・削除を行います。



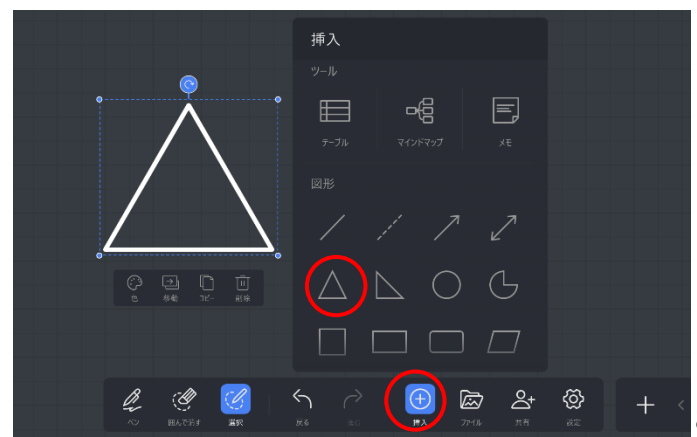
行/列の追加・削除 ②

表を貫通するように1本線を引くと、行/列が追加されます。表を貫通するように3本線を引くと、行/列が削除されます。



図形の挿入

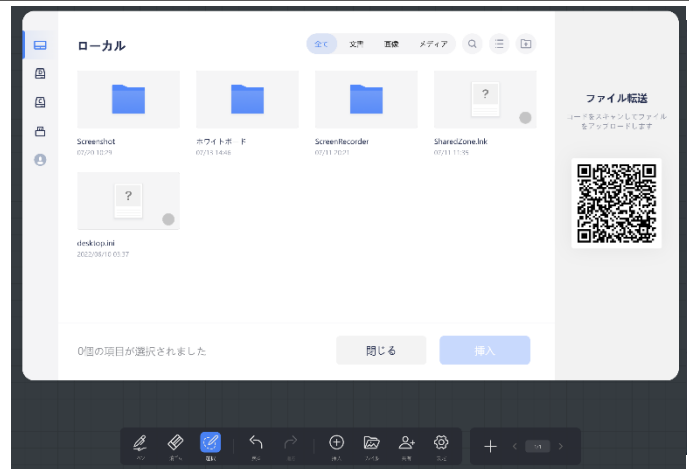
ツールバーから「挿入」→「図形」をタップして、各図形をタップまたはスライドして挿入できます。



ホワイトボード機能 画像・データの挿入

ファイルの挿入

ツールバーから「挿入」→をタップすると、本機に保存されている画像・PDF・PPTファイル・動画を挿入できます。



挿入したデータの切り取り

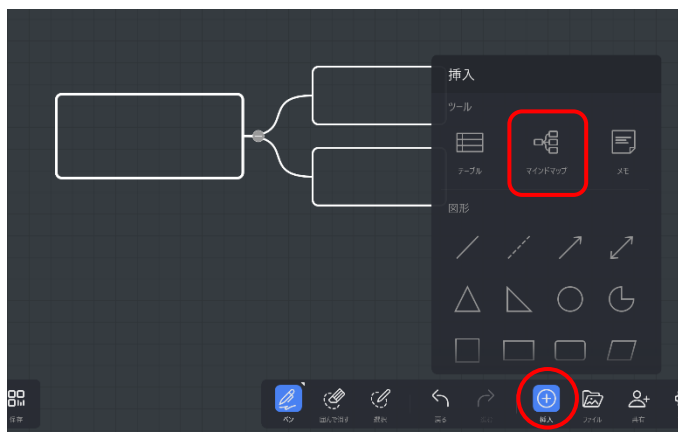
挿入したデータは、右下の「< >」アイコンでページを送ることができます。
右上の「ハサミマーク」をタップすると、ページを切り取ってホワイトボード上に画像として挿入できます。



ホワイトボード機能 マインドマップ

マインドマップを挿入する

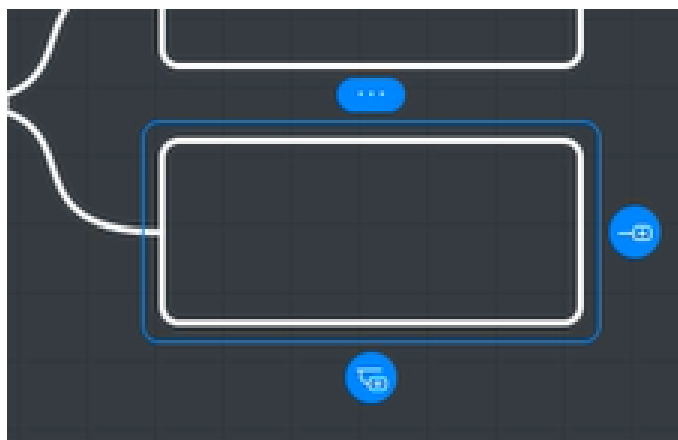
ツールバーから「挿入」→「マインドマップ」をタップするとマインドマップが挿入されます。



分岐/フレームの追加/削除

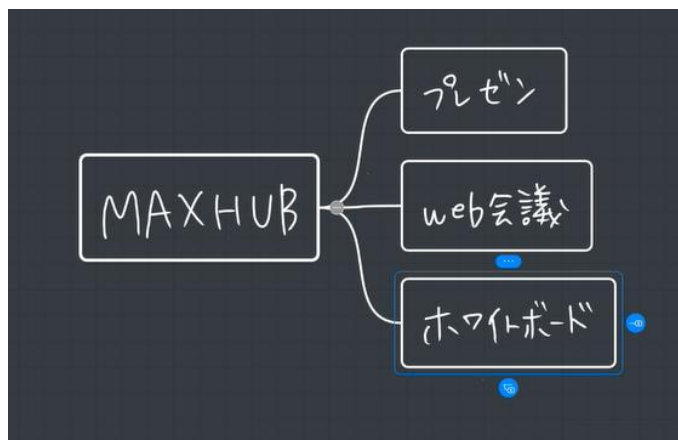
横の「+」でフレームの追加、下の「+」で分岐が追加される。「・・・」でフレームが追加されます。

※「選択」モードではなく、「ペン」モードで有効となります。



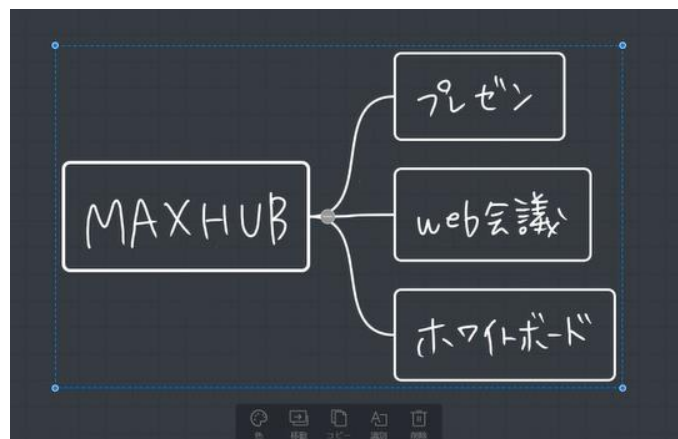
文字を書き込む

枠内に文字を書きこむと、大きさに合わせてフレームが自動で調整されます。



移動・縮小/拡大

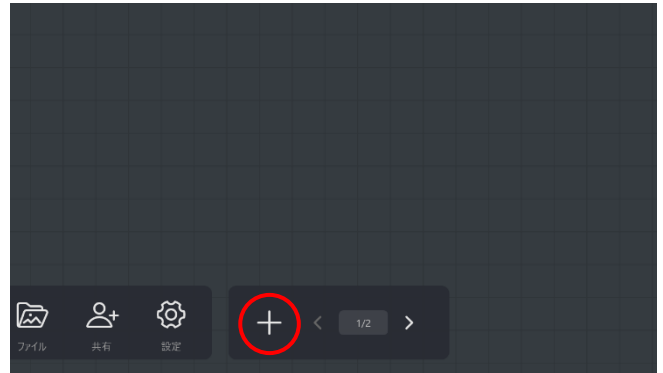
「選択」モードで一番頭にあるフレームに触れると全体が選択され、移動・縮小/拡大することができます。



ホワイトボード機能 ページの追加・移動・削除

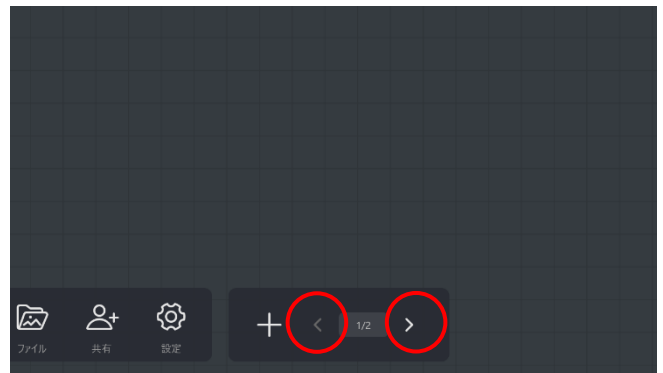
ページを追加する

右下メニューの「追加」をタップするとページが追加されます。(最大20ページ)



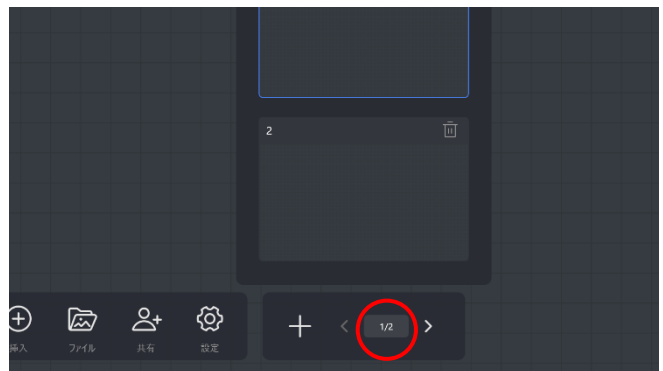
ページ移動する ①

右下メニューの「前後」をタップするとページが移動します。



ページ移動する ②

右下メニューの中央をタップすると、ページ一覧が表示され、タップすることにより移動できます。



ページを削除する

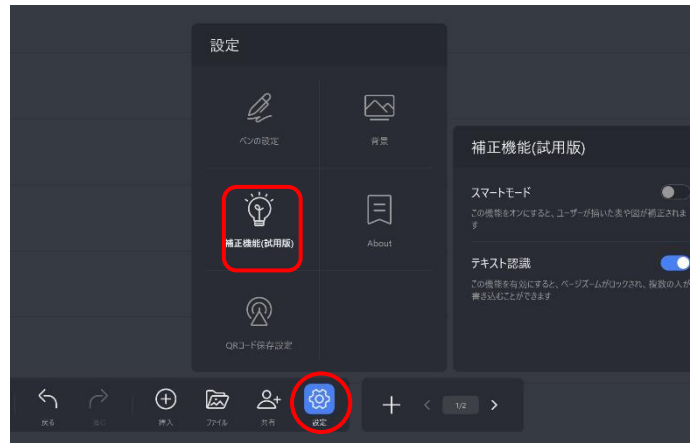
ページ一覧を表示させた状態でページ右上のゴミ箱アイコンをタップすることによりページを削除できます。



ホワイトボード機能 手書き文字認識機能

設定①

右下ツールバーから「設定」→
「補正機能」をタップします。



設定②

設定画面を下にスクロールし、
「テキスト認識」をONにします。



文字を書き込む

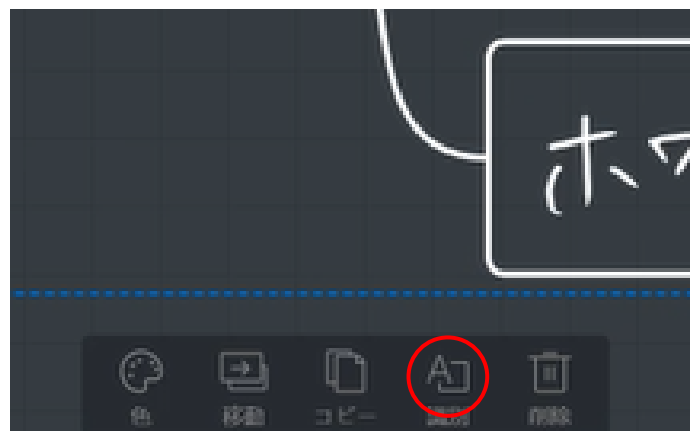
文字を書き込むと、自動で認識し
テキストに変換されます。

※MAXHUBで設定した言語環境に依存
して認識されます。



表・マインドマップの 手書き文字認識機能

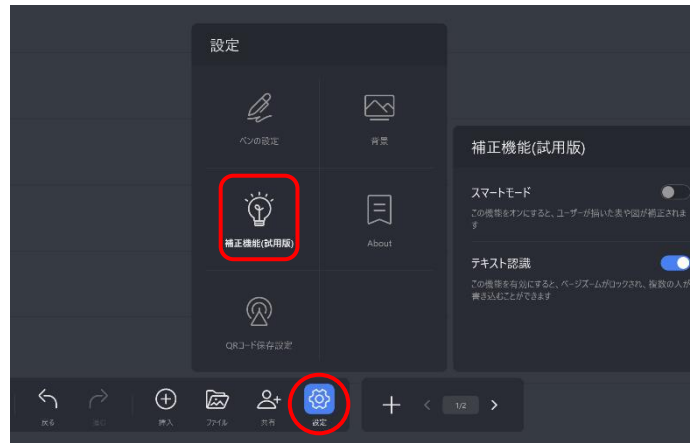
表・マインドマップに文字を書
き込んだ後に選択し、ツール
バーから「識別」をタップする
と、一括でテキスト変換が可能
です。



ホワイトボード機能 スマートモード

設定①

右下ツールバーから「設定」→
「補正機能」をタップします。

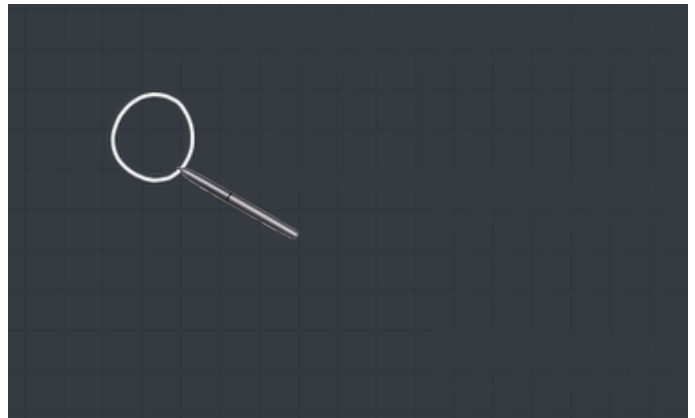


設定②

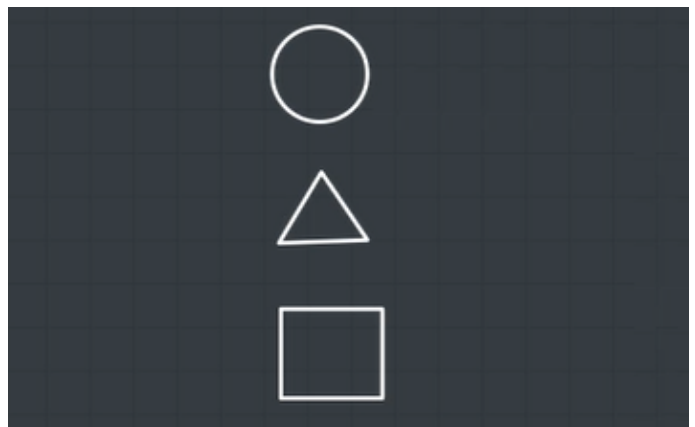
右の設定画面に「スマートモード」
をONにします。



指やペンで図形や線を書きます。

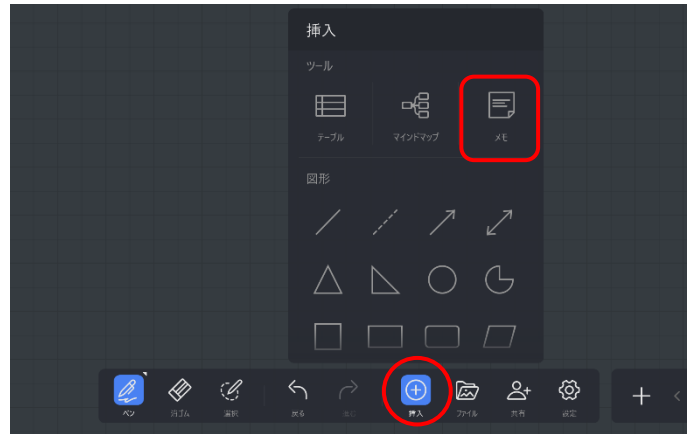


○、△、□、—、→を書くと自
動で認識し補正されます。

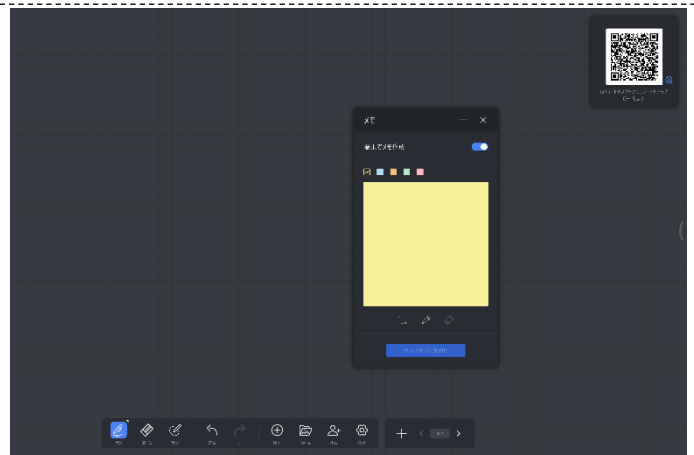


ホワイトボード機能 メモの転送

ツールバーから「ツール」
→「メモ」をタップします。



メモウィンドウ上部「端末でメモ
作成」をONにするとQRコードが
表示されます。



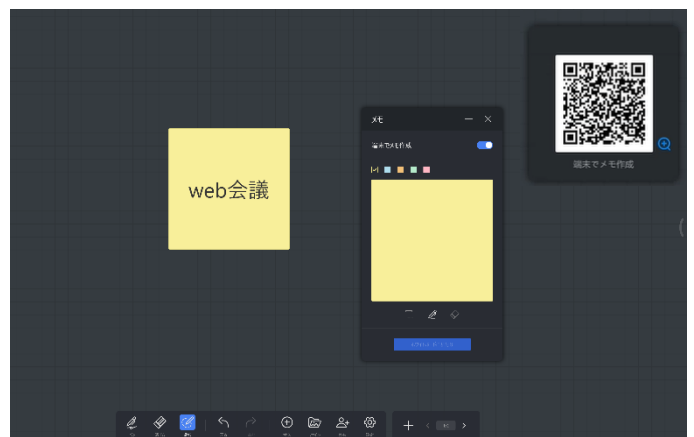
スマホ・タブレットでQRコード
を読み取り、テキストを入力し
右下の「送信」ボタンをタップ
します。



メモを付箋のようにホワイトボー
ド上に挿入できます。

※複数人で利用可能

※QRコード設定に「グローバルサー
バー経由で保存」を選択することによ
り、WEB会議時など画面共有し遠隔地
からQRコードを読み込んでメモを転送
することも可能です。



ホワイトボード機能 データの転送

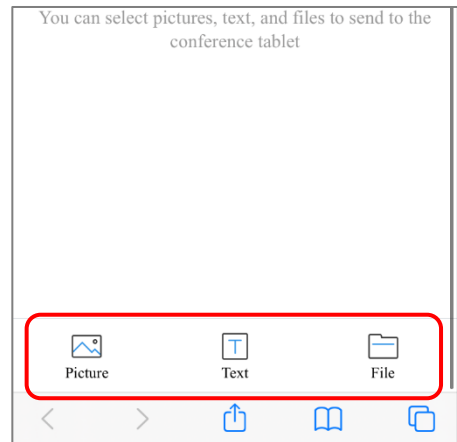
ツールバーから「ツール」→
「ファイル転送」をタップします。



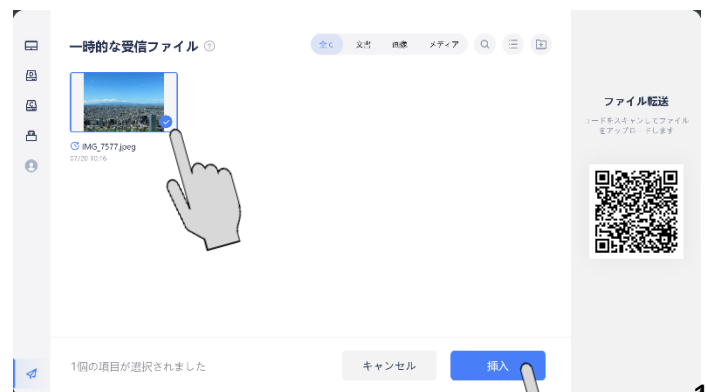
表示されたQRコードをスマホ・タブレットで読み取ります。



スマホ・タブレットの画面下から
転送したいデータの形式をタップ
→転送したいデータを選び、「追加」
をタップします。

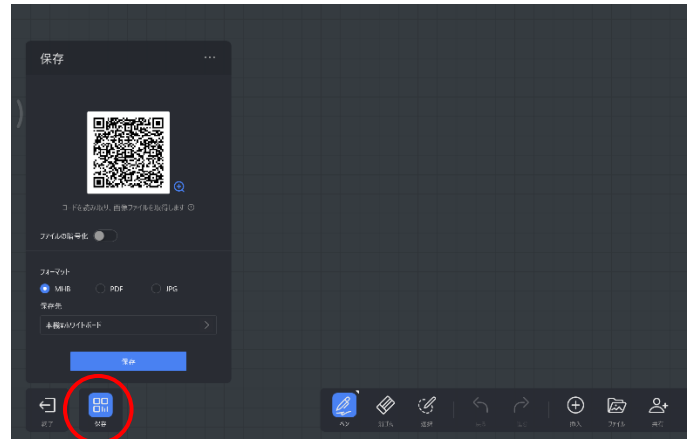


MAXHUBにデータが転送されたら
挿入したいデータを選択し、ホ
ワイトボード上にスライドすると挿
入されます。



ホワイトボード機能 データの保存

左下のツールバーから「ファイル」→「保存」をタップします。



保存したい形式を選びます。

【保存形式】

- PDF
- JPEG
- MHB
(MAXHUBで再編集できる保存形式)



「保存先」にデータを保存したい場所を選択することが可能です。デフォルトでは、本体のホワイトボードフォルダに保存します。

最下部にある「保存」をタップし保存します。



デフォルト環境で保存したデータは、MAXHUB内の「ドキュメント」フォルダ内に保存されます。



ホワイトボード機能 QRコードでデータの共有

セキュリティの選択

左下のツールバーから「設定」→「スキャンコード」をタップします。

① クラウドサーバー経由でQRコードを作成

⇒QRコードを読み込むだけで共有可能。

② LAN経由で保存

⇒データを共有したい端末を、MAXHUBと同じWi-FiネットワークかMAXHUBのWi-Fiに接続する必要があります。



共有方法

左下メニューの「保存」をタップするとQRコードが生成されます。スマホやタブレットで読み込むと内容を取得できます。

クラウドサーバー経由：jpg

LAN経由：pdf



ファイルの暗号化

QRコードの下部にある「ファイルの暗号化」をONにすると、共有したファイルに任意のパスワードを設定できます。



ホワイトボード機能 ホワイトボードの共有

オンラインホワイトボード共有開始（主催）

開始するには、ツールバーから「ツール」→「ホワイトボード共有」をタップします。



「作成」をタップすると会議が作成されます。



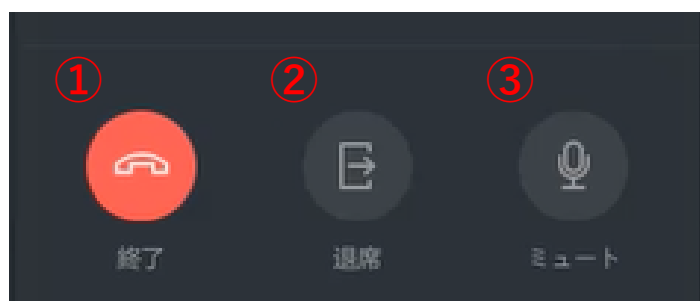
共有されたホワイトボードへの参加

2台目以降が会議へ参加する場合は、「参加」をタップします。主催者画面に表示されている「ID」を入力して参加します。

※主催者含め、最大4台まで共有可能



- ① 会議を終了
(主催者のみ可能)
- ② 共有状態から抜ける
- ③ マイクのON/OFF



プレゼンテーション機能 ワイヤレスドングルで画面共有

※事前にMAXHUBのUSBポートにドングルを挿しペアリングをしてください

ワイヤレスドングルで接続

ドングルをPCのUSB端子に挿し、ワイヤレスドングルの点滅が点灯に変ったら接続完了です。その後ドングル中央部を押し込むとMAXHUBにPCの画面が投影されます。



プレゼン資料投影時の操作

全画面のスライドショーモードにして、二本以上の指で横に素早くスワイプ、または右下のメニューから「<>」を押してページを送ることができます。

※手元PCでパワーポイントなど投影時



【アノテーションモードで書き込み】画面右下のコントロールバーのペンアイコンをタップすると、ペンや指で書き込みができます。



WEB会議機能 WEB会議アプリを使う

1

MAXHUBのWindows画面から、インストール済みのWEB会議アプリを起動、もしくはホーム画面に設定済みの場合はホーム画面の「WEB会議」をタップして起動します。その後WEB会議を開催、もしくは参加します。



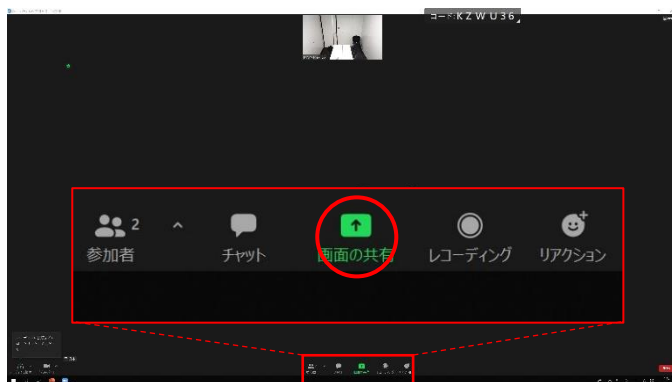
Windows画面



ホーム画面

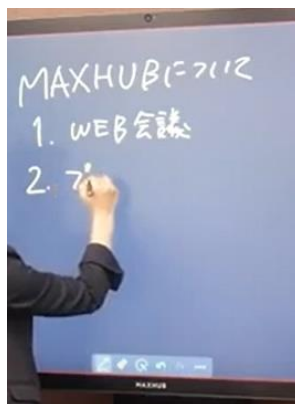
2

MAXHUB上でWEB会議アプリの画面共有機能を使用することにより、MAXHUBの画面をWeb会議上に映すことができるようになります。

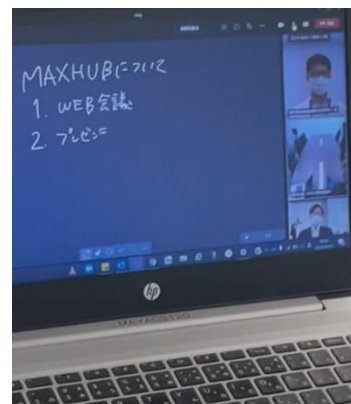


3

デスクトップ全画面共有実行中にホワイトボードを起動することにより、ホワイトボードへ書いた内容をリアルタイムで参加者に見せることが可能となります。



MAXHUB



遠隔地PC

※本説明については、Zoomを例としたものでありWeb会議アプリについてはユーザー様にて別途インストールしていただく必要があります。